

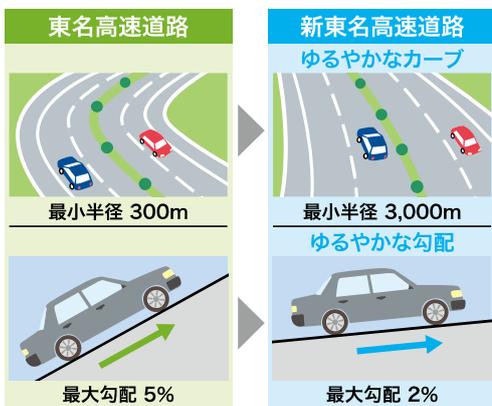
# ゆるやかな構造で、安全で快適な走行を実現

■新東名高速道路は、東名高速道路と比較し、ゆるやかな構造のため、安全で快適な走行が可能となります。

■カーブや勾配が新東名高速道路よりも急な区間



■東名高速道路と比較して緩やかな構造の新東名高速道路



**企業の声(製造業)**

- 新東名高速道路は、道幅が広く運転しやすいです。東名高速道路を走行するよりも疲れにくいと感じます。
- 新東名高速道路は、振動が少なく、安定して製品を配送できます。

出典：ヒアリング調査  
平成27年6月(国土交通省 中部地方整備局 名古屋事務所)



■ゆるやかな構造の採用により期待される効果

**荷痛み・荷崩れ減少**      **事故の減少**

**サグ部※の渋滞を回避**

※下り坂から上り坂にさしかかる凹部のこと

# 高速性と定時性の回復

■ダブルネットワークの形成で、渋滞の大幅減少による高速性の回復、交通事故等による通行止め時には、代替経路の選択が可能となり定時性が高まります。

■ダブルネットワーク位置図



■御殿場JCT～豊田JCTの所要時間

<b>新東名利用</b>	<b>60分短縮</b>	<b>東名利用</b>
距離: 約205km	<b>120分</b>	距離: 約215km
	<b>180分</b>	

指定最高速度(100km/h)にて算出

交通が安定する秋期の走行速度にて算出(平成22年道路交通センサ混雑時平均旅行速度)